

## 概要

このプログラムではPC-1500に内蔵の時計は、こんなにも便利だという例をお見せします。これ一台で、ストップウォッチもタイマーも目覚し時計もOKです。

## ■使い方(遊び方)

- (A)アラーム時刻(0~23時0~59分0~59秒)を入力しますと、予定の時刻にメロディで知らせてくれます。  
この間、時刻も表示します。
- (D)タイマー時間をセットして **SPACE** キーでスタートを入力すると指定時間経過後、メロディで知らせてくれます。  
この間、経過時間も表示されます。
- (S)ストップウォッチと同様に **SPACE** キーでスタートとエンドを入力します。この間、経過時間が表示されます。
- (注意)このプログラムを使用する前に、内蔵時計(TIME)を正しくあわせて下さい。

## ■例題

- (A)アラーム時刻10時57分00秒としますと、105700と入力します。  
**NOW-TIME 10H 54M 5S** と現在時刻が表示されつづけ10時57分00秒になりますとメロディがなります。
- (D)タイマー時間を0時間30分00秒としますと、003000と入力します。  
**SPACE** を押しますと、**KEIKA 0H 0M 1S** のように経過時間が表示されつづけ、0時間30分00秒が経過すると、メロディがなります。
- (S) **SPACE** を押しますと **0M 0S 2SS** のイメージで経過時間が流れます。次に **SPACE** を押しますと、**STOP 10M59S 4SS** 経過時間が表示され、処理は終了します。

## ■内容(計算内容など)

- (A)目覚し時計の働き  
アラーム時刻(時、分、秒)を入力します。  
予定時間になればメロディを発生して知らせます。この間、その時の時刻を表示します。
- (D)タイマーの働き  
タイマー時間(時間、分、秒)を入力します。  
**SPACE** でスタートして指定時間経過後、メロディを発生して知らせます。この間秒単位で経過時間を表示します。
- (S)ストップウォッチの働き  
**SPACE** でスタートして **SPACE** で終了します。この間1/5秒単位で経過時間を表示します。

## ■キー操作手順

ステップ	キー入力	表示	備考
1	TIME=10110.5350 ENTER	10110.535	現時刻を入力 1月1日10時53分50秒
2	DEF A	ALARM-TIME?	アラームタイム指定 10時57分00秒
3	105700 ENTER	NOW-TIME 10H53M56S	現時刻表示
		: : : : : : : : :	
4		NOW-TIME 10H57M00S	アラームが20回鳴る
1	DEF D	TIMER?	時間指定 00時30分00秒後セット
2	003000 ENTER	TIMER003000	
3	SPACE	KEIKA 0H 0M 1S	
		: : : : : : : : :	
4		KEIKA 0H 30M 0S	アラームが20回鳴る
1	DEF S	STOP WATCH	
2	SPACE	0M 0S 0SS	ストップウォッチスタート
		: : : : : : : : :	
3	SPACE	STOP 1M 0S 0SS	1分後